

## 令和6年度実績について

### (1) 施策の柱に沿った取組みの実績評価について

第2次成田市文化芸術推進基本計画を総合的かつ効果的に推進するため、5つの施策の柱を設定し、その柱ごとの取組み（全83）について現在、進行管理を行っています。

また、各取組みの進捗状況を確認するため、本計画の推進と実効性を確保するために定めた「計画最終年度（令和9年度）の目標値」に対する達成見込みを、年度ごとに評価することとしています。

令和6年度の実績からみた、各取組みにおける「計画最終年度の目標値」に対する達成見込み【「表1」各取組みにおける「計画最終年度の目標値」に対する達成見込み参照】は、評価対象となっている72の取組みのうちS評価（十分達成できる）となった取組みが2で評価対象取組み数の2.8%、A評価（達成できる見込み）となった取組みが27で37.5%、B評価（達成できるかわからない）となった取組みが20で27.7%、C評価（達成できる見込みが低い）となった取組みが19で26.4%、D評価（達成が見込めない）となった取組みは2で2.8%、E評価（その他〔事業終了、事業を予定どおり実施しなかったなど〕）となった取組みも2で全体の2.8%という結果でした。

昨年同様、取組みの中で、その性格が目標設定にそぐわない11の取組みについては「目標値」を設定せず、実績により取組みの状況把握を行うこととしています。

#### ① S評価となった取組みについて

S評価となった取組みは、豊住ふれあい健康館の「貸館」および「維持管理」でした。

アンケートや意見箱の活用により、利用しやすい施設運営に努め、利用者が年々増加しており、すでに最終年度の目標値を超える実績値となりました。

#### ② A評価となった取組みについて

A評価となったのは、27の取組みでした。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより外出しやすくなった中で、コロナ禍以前のように、コンサートや展覧会等のイベントが開催され、参加者が増加したことや、友好都市や姉妹都市との交流の機会が増加したことにより、最終年度の目標を達成できる見込みと評価されています。

#### ③ B評価となった取組みについて

B評価となった取組みは20ありました。新型コロナウイルス感染症対策の緩和等により、貸館や施設の維持管理など実績値が伸びている取組みはありますが、最終年度の目標値までは差があるため、評価はBとなっています。

#### ④ C評価となった取組みについて

C評価となった取組みは19あり、公民館等で開催されるイベントやコンテスト形式の事業、施設の貸館や維持管理等の事業です。参加者数や利用者数を指標としており、令和5年度よりも減少している取組みが多く、増加している取組みについても、目標値

との差が大きく、達成できる見込みが低い状況です。

⑤ D 評価となった取組みについて

D 評価となった取組みは、美郷台地区会館の貸館および維持管理事業でした。昨年度よりも利用者数が増加していますが、目標値との乖離が大きいため、現状は D 評価となっています。

⑥ E 評価となった取組みについて

E 評価となった取組みは 2 ありました。「公民館学社融合事業」と「指定文化財管理補助金（無形）」が該当していますが、学校から公民館の登録サークルに体験教室を開催する要望がなかったことや、指定無形文化財の活動の担い手不足等により活動自体を行った団体が少なかったため、E 評価となっています。

## (2) 本計画の達成状況について

本計画では、施策の進捗や達成状況を確認するため、3つの成果目標を設定しています。「市民満足度アンケート調査」または「市民意識調査」を実施し、各取組みの実施が市民の文化芸術に対する意識や活動等へ、どのように成果となって現れるのかを確認していますが、本計画策定前は、同アンケートに調査項目の設定がなかったため、計画の最終年度である令和9年度の目標値は、令和元年度の「インターネットによる市政モニターへの文化芸術に関するアンケート調査」の結果から推定し設定しました。（本計画策定前の令和2年度および令和3年度に実施した「インターネットによる市政モニターへの文化芸術に関するアンケート調査」と「市民満足度アンケート調査」の結果の比率を用いて、推定しています。）

「〈表2〉成果目標の現状値（市民満足度アンケート調査による）」は、令和7年度調査（令和6年度実施）についてまとめたものです。

〈表2〉 成果目標の現状値（市民満足度アンケート調査による）

| 目標項目                       | 参考値<br>令和元年度 | 参考値<br>令和5年度 | 現状値<br>令和6年度 | 目標値<br>令和9年度 |
|----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 市内で文化芸術鑑賞を行った市民の割合         | 32.0%※       | 34.4%        | 36.2%        | 35.2%以上      |
| 文化芸術活動を行った市民の割合            | 24.9%※       | 50.1%        | 52.9%        | 27.4%以上      |
| 本市は「文化芸術活動が盛んなまち」だと思う市民の割合 | 31.9%※       | 47.5%        | 63.2%        | 35.1%以上      |

※市政モニターアンケート調査結果より算出した推定値。

令和6年度の現状値につきましては、令和5年度と比較し、いずれの項目についても上昇しており、令和5年度、令和6年度とも、計画最終年度の目標値を大幅に上回る結果となりました。次期計画策定にあたっては、目標値を実態に合わせた値で設定する必要があります。

### 目標項目：市内で文化芸術鑑賞を行った市民の割合について

市内で文化芸術鑑賞を行った市民の割合については、36.2%と令和5年度(34.4%)から1.8ポイント増加しています。

また、市民満足度アンケート調査8②(どのような文化芸術を鑑賞したか)においては、令和6年度調査(令和5年度実施)から「映画」が10.7ポイント増加しています。その他には「音楽」や「美術」、「文学」、「演劇」、「伝統芸能」も増加しています。

今回の調査時点では、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されて以来、徐々に外出しやすくなったことや、成田市制施行70周年記念事業として人が多く集まるイベント等も開催されたことなどにより、市民が文化芸術に触れる方法が増えたことがうかがえます。

### 目標項目：文化芸術活動を行った市民の割合について

文化芸術活動を行った市民の割合については52.9%と令和5年度(50.1%)から2.8ポイント増加しました。

活動を行った市民の割合は、「文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画、漫画、アニメーション」などの創作・参加、「音楽、舞踊、華道、茶道、書道」などの習い事、「文化的行事(市民文化祭、音楽祭、演劇祭、映画祭など)」への参加といった、創作する活動に減少傾向がみられました。その一方で、「地域の芸能や祭りへの参加」、「歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための活動」といった地域に根差した活動について、上昇しています。新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、令和6年度は、地域での文化芸術活動について、より多くの活動が再開または新たに開始されたと考えられます。

### 目標項目：本市は「文化芸術活動が盛んなまちだ」と思う市民の割合について

本市は「文化芸術活動が盛んなまちだ」と思う市民の割合については、63.2%と令和5年度(47.5%)から15.7ポイント増加し、50%を超えています。

これは、コンサートや展覧会等が制限等なく開催されるようになったことや、成田市制施行70周年記念事業が多く開催され、市民が文化芸術に触れることができる機会が多く得られたことが要因と考えられます。

また、目標項目「文化芸術活動を行った市民の割合について」に記載したとおり、地域での文化芸術活動が活発になっていることから、「本市の文化芸術活動が盛んである」と思う市民の割合が増加したと考えられます。

## (3) 計画の達成に向けて

令和6年度の実績の実績評価や成果目標の分析から、新型コロナウイルス感染症への対策が緩和されたことにより、令和6年度には文化芸術鑑賞や文化芸術活動の多くが再開され、市内での鑑賞や活動も活発になってきたことがわかりました。

令和6年度の実績は、計画の最終年度における目標値を達成しましたが、基本目標である「あらゆる人が文化芸術に触れて、交流を育む豊かな社会の推進」を十分に達成できるよう、各事業の改善や発展を図る必要があります。

また、市民満足度アンケート調査において、「市内で文化芸術を鑑賞した割合」と「市外

で文化芸術を鑑賞した割合」を比較した際、令和6年度調査（令和5年度実施）では「市内」34.4%、「市外」24.2%、令和7年度調査（令和6年度実施）では、「市内」36.2%、「市外」31.9%と、いずれも「市内」が「市外」より多い割合を示していました。

また、市民満足度アンケート調査8⑤（最近1年間で行った鑑賞以外の文化芸術活動）の結果より、地域での活動や行事に参加している市民の割合が令和5年度より令和6年度に増加していることがわかります。

市内での文化芸術鑑賞や文化芸術活動を行う機会が増加していることが、目標項目「本市は『文化芸術活動が盛んなまちだ』と思う市民の割合」が増加した要因の1つと考えられます。

今後も市民が本市の文化芸術に関心を持ってもらい、市民の文化芸術活動に寄与するよう、文化芸術施策を推し進めていく必要があります。

第2次成田市文化芸術推進基本計画の計画期間は始まったばかりですが、新型コロナウイルス感染症の影響も収束し、文化芸術鑑賞や文化芸術活動の機会がコロナ禍以前に回復しつつある状況にあります。本市の文化芸術振興に寄与すると考えられる事業について、継続的に改善を図りながら実施し、変わりゆく情勢に合わせた事業や手法について、随時見直しを行いながら、施策の進捗や達成状況の検証を進めてまいります。